新聞定價一ヶ月80圓　一部賣(3圓)　月曜休刊
磐　城　日　日
昭和29年(1954) 1月22日　(金曜日) 第1033号

磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人　梅野陸

綱　領

▲權力に屈せず言論の自由を守る
▲公平な批判、公明な報導
▲『今日の主張』をもつて本紙の社説とし基本的人權を擁護する

磐城日日新聞社

審判を待つ小名濱の様相

虚々實々、百鬼夜行の前夜祭

「暴力の街」小名濱

暗雲低く全町殺氣に滿つ

十一日告示以來十日間の選擧戰を終了した廿日午後九時、小名浜町の選擧前夜は低く垂れ込めた暗雲と共に將に虚々実々、百鬼夜行と云う形容以外にその言葉を知らぬ有様であつた

町議選候補者は何れも午後九時一切の矛を納めてしずもり、心靜かに有權者の審判を待つのみとなつたが、町長選兩候補事務所は一層その殺氣を増して運動員の出入りは激げしく、某派運動員は「反対派が実彈を破裂させて一擧轉覆を謀つている」と云う諜報にそれを防止せよとその数約三百が全町要所に張り込み、これに對する某派は負けるなと運動員を繰り出して對抗する、この空氣を察知した小名浜地区署は鈴木署長以下全署員を町内に集中して警戒に當るなど三者入り乱れての殺氣を滿たし、某派は「ふたり」、片やは「さんじゆう」と合言葉まで使用してのもの／＼しさに「暴力の街」と化した感が深更、三更に至るまで續けられた

その間に「いわき民報」社の號外配付と云う壯擧に町民のデマ合戰はますます激烈を極め右から流され、左から聞かされる虚々實々に恐怖を訴え、その深刻さは馬鹿々々しさを超越してむしろ悲愴さを露呈するに至つた

投票率は九割出るか

病人もかり出す一票争い

小名浜町、町長、町議補欠選擧は二十一日午前七時、町内五ヵ所の各投票場は一斉に開場し、工場に通う会社員、野良仕事に出かける百姓などドッと入場、小雨催いの寒空に傘の列は投票場に流れ込み、投票場から吐き出される

陸續として續く有權者の波にはリヤカーに乘せられた病人、老人、文字を知らぬ人、盲目の人と選擧立会人は代理投票の應對に多忙を極めており、日本水素、專賣公社はバスを繰り出して社員の家族有權者の送り迎えに数往復を重ねるなど惡天候にもめげず、小名浜町有史以来と云われる大乱選大混選の樣相を如實に露呈し、投票率も九割を出るのではないかと云うのが選管委員会の一致した觀測となつている

反面選擧場から街行く人々の顔は心なしか殺氣を孕み、不氣味な沈默を底流させて、その深刻さは次に來るものの恐怖を覺えさせて心ある人々を憂慮させている

小雨つく有權者

午後三時で六割突破

投票日午前十時現在の各投票場の投票樣相は次の通りとなつている

（確定有權者數）

（町　長）

▽第一＝男二九六五、女三三七五、計六三四〇
▽第二＝男一〇七八、女一一〇九、計二一八七
▽第三＝男二四一五、女二四二五、計四八四〇
▽第四＝男六〇五、女六八五、計一二九〇
▽第五＝男六〇三、女六一一、計一二六四
▽合計＝男七六六六、女八二五五、總計一五九二一

（町議補せん）

▽第一＝男二五九九、女二九九七、計五五六七
▽第二＝男一〇七八、女一一〇九、計二一八七
▽第三＝男二三〇八、女二三一六、計四六二四
▽合計＝男五九八五、女六四〇二、總数一二三八七

（投　票　數）

（十時現在）

▼第一＝男七四九、女七三八、計一五八七
▼第二＝男二九五、女三三五、計六三〇
▼第三＝男六〇一、女六一一、計一二一二
▼第四＝男二六〇、女二二〇、計四八〇
▼第五＝男二五六、女二一七、計四七三
▼合計＝男二一六一、女二二二〇、總計四三八一
▼男＝二割八分二厘、女二割五分七厘、全体二割六分九厘

（投　票　數）

（午後三時現在）

▼計＝男五〇二七、女五八〇九、總計一〇九三六
▼男六割五分五厘、女七割八厘、全体六割七分三厘

聲明書

今次小名浜町長選擧は宿命的なまでの兩派對立を露呈し、町発展の政治大綱を他所に全身これ「勝たんかな」の目的に集中してその手段を選ばずと見受けられる節多分にあるを誠に遺憾とするものです

本社はこの對立抗爭に地元紙としての立場を再自覺の上、絶對中立、兩者批判、眞實なるニュースの報道、以つて讀者各位の信意に報ゆることをプライドとし、全社一体これが達成に誘惑を退け、權力に屈せず努力の傾注を致して參りましたが、昨今はからずも一派の謀略により、ニュースの信憑性をすら冒瀆されるが如き宣傳を受けております

私達を信じ愛して下さる方々は敢然これに對抗することを御すめ下さいましたが、私達は自己の良識を信じ、敢えて兩派對爭の渦中に自らの身を投ずるが如き愚行を避けることに致した次第であります

今後とも私達は對立と紛爭に崩壞寸前にある吾が小名浜町の建設に不肖ではありますが全身の力を注ぎまして、權力、金力に組せず不正には断々乎としてペンを執り、例え讀者が一人になろうとも最後の一人がある限り徹底的に斗うことを声明し、町を愛し郷土を愛する良識ある讀者各位のより一層の御支援、御愛顧を御願い致すものであります

最後に今次選擧終了後におきましては、絶對嚴正中立を堅持し、何派の如何を問わず違反行爲は徹底的にこれを讀者各位に露呈し、明々白々たる事實をもつて人道的にその御批判を請い願うことを改めて附言致します

昭和二十九年一月二十一日

磐城日々新聞社
比佐不二夫
森下ひろし

ホコを納めてまず一息

各候補の横顔拜見記

「公明選擧」なんてあり得ない事だ！要は当選すればいゝのだらう……と記者は昂奮する巷の人波を縫つて自轉車を走らせた、あと十分で戰鬪終止のラッパは鳴る。その後は自由行動？てな具合で探索すればきりがない。とかく人の世界での選擧であり小名浜の選擧であつた。しかし、九時の音をきけば安眠防害の原因だつたスピーカーのガナル音ともお別れだ。今夜はゆつくり休みたいと記者の神經は疲勞を訴えるさま／＼なデマが流れ中傷が飛び繹然としない選擧戰に記者の胸中は暗いものに閉ざれていたが反省の時は來るだらうとかすかな希望を抱いて、激戰を闘い拔いた各候補の表情をとらえてみた

▽……杉本町議候補＝神樂場の自宅を訪れると、候補は六疊の居間にテーブルを圍んで五、六名の支持者を相手にチビリ、チビリさゝやかな宴をひらいていた。

まア一杯と差されたが固く御辭退申上げる（後顧の憂なくとゝまで神經を使うとは辛い話）

彼曰く、「大小名浜たるを目指す町が、たとえ補欠選であらうと無競走とは（これ如何に！）……全國山村にもない事で公明選擧に不明朗な疑いを生ずる。この事は民主政治の理論に反するよ君。というわけで相變らず意勢がいい。その筈だ、壇上から野次にバカヤローと言つたのは吉田首相以來の事で樺太できたえた議會生活二十年は彼の政治信念と肚をたゝきあげ人間杉本を大きく打ち出すあたりはまア、金力や權力に屈する人間ではなさそうだ。疲れましたか？の問に。疲れはせん。疲れを覺え、街頭演說がいやになれば休んじまつただが当選すれば町の爲に努力したい。と本心を御披歴する。一寸ばかり異彩を放した彼であつたが、無競走の夢を破つてくれた事は彼の當選よりもその意義は深い

▽……竹田候補＝水素一門和氣あい／＼の雰圍氣に候補を圍み互に勞をねぎらつているところ。緊張から解放された候補の顔が心快いばかりに赤く染まり同僚と交す酒の味はさぞうまからう。疲れましたか？と言えば、何に組合運動の比ではないとシカられる。頼母しい氣魄でよろしい私は当落も考えなければ票も讀まない、御願いしますの選擧が、願いますと云う選擧になつてもらいたい、金のかからない選擧、職場と家庭を離れなくとも出來る選きよを希望したが今日では無理だ、將來は是非こうありたいものですね。そのそばで竹田は公明一本で今せんきよを貫いた。と候補に同僚は敬意をはらう。口下手の評はあるが眞實一路を歩む型で澁味な鬪士だ。

▽……小野候補＝先ず六千票はとれるでせう。デマと中傷に攻擊されたが私の信念は正しい、勝つ自信をもつて戰い拔いたし現在もとの氣持には變らない、寢食を忘れて盡してくれた人々にも是非當せんして、信念ある政治をうちたてゝ行きたい――五分間のインタビュー、まことに信頼になる辯。大いに革新陣營のために花を咲かせていたゞきたい

▽……立花候補＝ワンサ／＼と百名以上の人人人が自宅の居間、外に溢れている、ざわついたふんいきだ。神棚に「立花の花よ咲け咲け豊年が町も明るく浜も大漁」――と有志が送つた歌がはられ縣議、大井川正巳氏の〃立花町政樹立に各位の結集を望む〃の墨筆がきわだつている、候補はたゞ一語「人事を盡して天命を待つ」と無想の念を記者にもらしたのみ…。

▽……志賀候補＝銀輪部隊を想せる事務所わきの通りには、三十數台の自轉車が勢ぞろいしていたが人影は少なかつた、候補は？不在です。大きな火鉢を圍んで十数名の運動員が和やかに何やら語つている、勝算は？さアとニヤリ。後は審判を靜かに待ちますよ。幹部の一人が自信ある表情で語つていたが智將志賀の当せんを望む聲に、その曉は堂々と高潔な人柄とともに民主的町政の大道を歩んでいただきたいと記者は寒空の人となり各候補の奮戰に敬意して歸路に急ぐ（森下記者）

昭和25年10月6日 第三種郵便物認可　昭和26年7月13日 運輸省特別承認扱第684号
磐城日日
昭和29年(1954)1月22日（金曜日）第1033号

縣港灣施設協會 總會ひらく

二十九年度豫算に測面拍車

縣高野土木部長を会長として組織される縣港灣施設協会総会は、二十一日午後一時から小名深町役場大会議室で開かれ、縣側髙野会長、木戸河港課長はじめ地元並近接町村港灣関係者が多數出席、二十七年度会務報告に續いて左の議案審議に入つた

▼議案第一號…昭和二十七年度決算
自昭和廿七年十一月十六日　至昭和廿九年一月十七日
収入　五〇四、四八五円
夜出　四七四、二九四円
差引殘　三〇、一九一円
翌年繰越金　三〇、一九一円

▼議案第二號…昭和二十八年度豫算豫算七五三、六八六圓承認の件

終つて懇談会に移り、港灣漁港修築事業概況、災害復舊工事進捗概況（昭和二十八年十二月末日現在）の報告、意見交換が行われ四時過ぎ散会した

尚二十八年度各地会費並に負担金内譯は次の通り

▼会費…各地とも五、〇〇〇圓
▼負擔金—小名浜八三、〇〇〇円、江名五七、五四五圓、四倉四七、〇〇〇圓、中村四九、〇〇〇圓、久の濱二五、九七〇圓、浪江二一、五三〇円、豊間二七、五〇〇円、勿来二三、〇〇〇圓

小室橋が完工式

四時川開発の隘路開く

植田町營林署（署長百瀬美佐雄氏）の懸案であつた田入村大字南大平字小室地内の林道橋小室橋は去る二十七年より計畫していたものだが二十八年九月その豫算も計上され九月九日總工費三百八十五万二千円の巨費で工事に着手十二月二十四日見事に竣工した

この工事は原の町石川林業建設（石川幸昌氏）の請負で竣工したもので浜通り六營林署管内では鐵筋コンクリートの橋はこの小室橋が最初であり石川氏の技術的な建設は仲々モダンな橋だと異彩を放つている

この竣工式は二十二日午前十時より原地に於て盛大に擧行される

式は宮下氏の開式の挨拶ののち百瀬署長の式辭、工事施工者石川林業建設石川幸昌氏に感謝狀と記念品を贈つて表彰、来賓の祝辭などもある

見事に竣工した小室橋は延長三九米、幅員四米という林道には實に稀に見る立派な出来榮えであり今後の四時川開發に重要な役割を果たすことであろう

またこの竣工と相まつて地元民を始め勿來、植田地區の生産業関係者は非常に喜んでいる

錦中の學校評價

錦中學校（校長佐川武雄氏）の学校評價は二十三日午前九時より行われる

グレーン竣工式

廿二日岸壁に挙行

小名浜港三千噸埠頭内に完成をみた橋型水平引込式起重機の竣工式は二十二日午前十時より同埠頭内第一会場に於て約三百五十名の知名人を招き盛大に行われることになつた

運輸省から大臣代理、建設省補佐官長尾義三氏、古河第二港灣建設局長はじめ知事代理、丹野副知事、關内代議士ら多数の名士が列席する

平の半谷君見事に入選

營林署の競寫會

浜通り六營林署（植田、平、木戸、原の町、浪江、富岡）の寫眞撮影競技大会はこの程富岡町の小浜海岸に於いて行われた

入選者次の通り

「入選」
一席　手來　達（木戸）
二席　白木秀郎（富岡）
三席　半谷成長（平　）

「佳作」
一席　芳賀公男（植田）
二席　佐藤義勝（〃　）
三席　櫻井行雄（富岡）
四席　長岡　良（植田）
五〃　若賀公男（〃　）
六〃　手来　達（木戸）
七〃　松崎武善（〃　）
八〃　宮下　正（植田）
九〃　勝山慶事（木戸）
十〃　宮下　正（植田）

錦中に實習電話

天野さんが二台を寄贈

錦町中學校にこの程実習用の電話が二台寄贈された

この電話は錦町南條出身の東京都港區白錦丹波町に居る天野至さんで天野さんは先にも國語辭典を贈つており、今度の電話器もせめて社會的な人材を育てて下さいと贈つて来たもの

學校では早速二十一日呉羽化学工業より技師を招いて家庭課と理科實驗室に取つけを完了、職業實習の時間に電話の使い方と應待用語の訓練に使用したいと語つている

荷役設備事業工事經過報告

小名浜港務所　浜田正軌

小名浜港埠頭荷役設備事業は昭和二十五年度に於て決議し、昭和二十五年十一月一日に着手致しましたが、その後朝鮮動乱その他の影響を受け、資材資金高騰のため當初の計畫施行不可能となりましたので昭和二十六年度及昭和二十八年度に於て追加予算を決議し、總予算五千壹百十五万圓内起債四千萬円、縣費壹千壹百拾五万円で実施致し昭和二十八年十二月二十二日に完成致しました

尚事業実施内容は次の通りであります

荷役機械製作及組立費は三千五百八十三万八千円で愛媛縣新居浜市住友機械工業株式会社が請負施行し、その變電所新設工事及基礎走行軌道工事はそれ〴〵福島市東北電氣工事株式会社並に平市堀江工業株式会社で請負施行したものであります、本荷役設備は橋型水平引込式走行起重機でありまして、その荷役能力は石炭の場合一時間当り二百屯、走行行程百米であります

次に本荷役設備の運營につきましては、地方發展の状況其の他を考慮し最も適切な方法をもつて運營するべく計畫中でありますが暫定處置として、縣が直營をもつて運營致しまして荷役の增强に資するものであります

此の運營につきましては地方各位の特段の御協力を御願い申上げます

次に小名浜港埋立地整備船曳場築港工事の經過報告を致します

小名浜港船曳場築造工事は昭和二十七年度予算額壹千五百万円を決議し小名浜港埋立地整備事業の一環として、昭和二十八年三月五日工事に着手し昭和二十八年十月三十一日竣工したものであります

其の事業實施内容は埋立地面積六千三百平方米、船曳場斜路五十米、護岸五十三米でありまして、小名浜町前澤工業株式會社が請負施行しました

この船曳場は多年地元の要望でありました機帆船修船整場と共に港内の幅輳を緩和し本港々灣機能を充分發揮せしむるため極めて重要な施設でありますが、其の利用運營につきましては、地方各位の御協力を御願いするものであります

以上をもちまして工事經過報告と致します

商工ガイド

初美が開店

植田町の今友跡に十九日「初美」が開店した

この初美は元湯川の小野初惠さんが獨立して初めたもので味自慢も仲々であると評判である

品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町　電三〇四

天氣豫報 22

（本日）北乃至北西の風一時やや强よく晴れ時々曇り、山沿いでは一時小雪もちらつきましよう（海上）氣節風がやゝ强く風波が高いでしよう

魚菜市況 21

（小名浜中央青果市場）

卵八、五～一〇、三丸大根一一～一二五ねぎ五〇～六五大根一一～一二〇玉ねぎ一三〇人蔘四〇～五〇へらな七～一五里いも三五～七〇白菜二〇～四〇玉菜三〇～四三ほうれん草八〇～一〇五牛蒡一四五～一五二馬鈴薯六五～七五さつま四〇～六〇

常磐名産　みりん干

虫下しに[illegible]の味い
サントノール錠
ダルマ薬局
小名浜町本町　電三三

印刷
御用命ハ
電219

時代劇は東映
21～23日迄　同時上映
鬼伏せ街道
鼠と呼ばれて十手の雨に濡れて追はれる凶狀持ち
待望千恵蔵の鼠小僧と山根壽子の顔合せ
總天然色 大西部劇
怒りの河
小名浜　キンヒ館　[illegible]

内科
小兒科
皮膚科
レントゲン
高木醫院
小名浜町定西五　電話四九九番

讓宅地
場所　第二小学校通り
坪数　六〇坪
價格其他御相談に應じます

讓文化住宅
場所　岡小名閑靜別莊地向（町へ徒歩廿分）
建家　二棟　湯殿納屋付
價格條件其他御相談に應じます
連絡所　小名浜町久保　田口兵次郎　或は　本社業務部

祝　四時川林道小室橋竣工

植田町營林署
署長　百瀬美佐雄
財務課長　福田倫顯
事業課長　林　一雄
経營課長　今村達視

工事施工者
石川林業建設
代表　石川幸昌
原ノ町大字南新田
電話原ノ町一五五番

田人村大字南大平
區長　小野庄左衛門

相子島鑛泉

神經痛　リウマチス
ぢ　婦人病に効特

南海荘
小名浜町相子島
湯本小名浜間バス住吉停留所より歩五分
自炊歓迎
団体の慰安に！家族連の行樂に！

電話新設お知らせ
毎度御引立に預り有難う存じます永らく御不便をお掛け致しましたが此之度電話七八九番が開通致しましたから何卒御利用御引立の程を御願ひ申上ます
第一位通産大臣賞受賞
マグネット自轉車代理店
高橋自轉車店
小名浜町上横町

チケット歓迎

皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前　電三九七

舊年末年始の御贈答品
良い品喜ばれる品私共は常に皆様の御相談相手として待機しています

經費をかけずに良い品安く

皆様のお店です
多服地ネルカセン純毛特價
夜具地と裏地フトンの手入
カネボウ毛糸　１９００円
松月足袋別珍特製１６０円
豆別珍５５円大人１００円
純毛コットン1500円より
セータカーデガントツクリ
裏毛メリヤスはオリエント
学生服セーラ服學帽カバン
化粧品柳屋メヌマ
ジユジユ・ウテナ　}８０円
ちどりフトン綿